

## 5 病院事業

### (1) 事業数及び経営規模

令和元年度における県内の市町村等が経営する病院事業の数は前年度と同数の18事業で、その病院数も前年度と同数の27病院となっている。事業数及び病院数のうち、1事業1病院（女川町）は想定企業会計である。

※ 想定企業会計とは、従前は公営企業会計として特別会計を設置していたが、現在はこれを廃止し、一般会計等において精算及び地方債の償還を行っている場合等において、決算統計上、これに係る一切の収支を一般会計等から分別し、当該事業に係る公営企業会計が設けられているものと想定し、当該想定企業会計において経理されたものとして取り扱っている会計のことをいう。

病院（想定企業会計を除く。）を経営主体別にみると、市営が16病院、町営が6病院、一部事務組合営が4病院となっている。

#### 【市営：7事業16病院】

仙台市、石巻市（2病院）、塩竈市、気仙沼市（2病院）、登米市（3病院）、栗原市（3病院）、大崎市（4病院）

#### 【町営：6事業6病院】

蔵王町、川崎町、丸森町、涌谷町、美里町、南三陸町

#### 【一部事務組合営：4事業4病院】

白石市外二町組合、黒川地域行政事務組合、加美郡保健医療福祉行政事務組合、みやぎ県南中核病院企業団

経営規模別にみると、300床以上は前年度と同数の6病院、100床以上200床未満は6病院で前年度に比べ1病院増加、50床以上100床未満は前年度と同数の10病院、50床未満は前年度と同数の4病院となっている。このうち、300床以上の病院は、仙台市立病院（525床）、大崎市民病院本院（500床）、気仙沼市立病院（340床）、栗原市立栗原中央病院（329床）、みやぎ県南中核病院（310床）及び公立刈田総合病院（308床）で、いずれも地域の基幹病院として機能している。

また、地方公営企業法の規定の全部を適用している事業は前年度と同数の7事業（仙台市、塩竈市、登米市、栗原市、大崎市、涌谷町及びみやぎ県南中核病院企業団）、一部を適用している事業も前年度と同数の9事業、指定管理者制度（代行制）導入も前年度と同数の1事業（黒川地域行政事務組合）となっている。

第1表 経営主体別・経営規模別の状況

（単位：病院、床、％）

経営規模	市		町		一 組 営		計		構 成 比	
	病 床 数	病 床 数	病 床 数	病 床 数	病 床 数	病 床 数	病 床 数	病 床 数	病 床 数	
300床以上	4	1,694	0	0	2	618	6	2,312	23.1	55.4
200床以上300床未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
100床以上200床未満	4	659	1	121	1	170	6	950	23.1	22.8
50床以上100床未満	5	393	4	288	1	90	10	771	38.5	18.5
50床未満	3	103	1	38	0	0	4	141	15.4	3.4
計（病院）	16	2,849	6	447	4	878	26	4,174	100.0	100.0
経営形態	全部適用	5	1		1		7		41.2	
	一部適用	2	5		2		9		52.9	
	指定管理者（代行制）	0	0		1		1		5.9	
	計（事業）	7	6		4		17		100.0	

（注）病院数は、年度末現在の数である。

(2) 業務の状況

令和元年度末における病床数は4,174床で、前年度に比べ40床(0.9%)減少している。病院別では、栗原市立栗原中央病院が29床の増床、登米市立登米市民病院が60床の減床、登米市立豊里病院が9床の減床を行っている。

患者数は、年延入院患者数が前年度と同数の1,112千人、年延外来患者数は1,875千人で、前年度に比べ53千人(2.8%)減少している。また、1病院当たりの1日平均入院患者数は前年度と同数の117人、1病院当たりの1日平均外来患者数は297人で、前年度に比べ4人(1.3%)減少している。

病床利用率は72.2%で、前年度に比べ0.1ポイント低下している。このうち、一般病床利用率は73.5%で、前年度に比べ0.6ポイント上昇している。

令和元年度末における職員数は5,355人で、前年度に比べ5人(0.1%)増加している。

第2表 病床数及び患者数の推移

項目	年度	H27	H28	H29	H30	R1	対前年度比較	
							a	b
年度末病床数(床)	A	4,128	4,299	4,235	4,214	4,174	▲40	▲0.9
年延患者数 (千人)	入院	1,075	1,096	1,122	1,112	1,112	0	0.0
	外来	2,026	1,982	1,953	1,928	1,875	▲53	▲2.8
一日平均患者数 (人/1病院)	入院	117	117	118	117	117	0	0.0
	外来	330	316	305	301	297	▲4	▲1.3
病床利用率 (%)		(73.2)	(71.6)	(72.5)	(72.9)	(73.5)	(0.6)	—
		72.4	71.1	72.0	72.3	72.2	▲0.1	—
年度末職員数(人)	B	5,067	5,267	5,322	5,350	5,355	5	0.1
一床当たり 年度末職員数	B/A	1.23	1.23	1.26	1.27	1.28	0.01	—

(注)病床利用率欄の( )内は、一般病床分である。

(3) 経営状況

ア 損益収支の状況

病院事業の経常収益は995億50百万円、経常費用は1,050億81百万円となっており、この結果、経常収支比率が94.7%となり、前年度に比べ0.2ポイント低下している。

経常利益が生じた事業は17事業(想定企業会計を除く。)のうち3事業(病院数では26病院のうち5病院)で、前年度と同数(病院数は1病院減少)となっており、その額は3億39百万円で、前年度に比べ51百万円(13.0%)減少している。

経常損失が生じた事業は14事業(21病院)で、前年度と同数(病院数は1病院増加)となっており、その額は58億70百万円で、前年度に比べ1億91百万円(3.4%)増加している。

経常収益に特別利益を加えた総収益は999億54百万円、経常費用に特別損失を加えた総費用は1,057億98百万円となっており、この結果、総収支比率は94.5%で、前年度に比べ0.8ポイント低下している。

経常損益に特別損益を加減した純損益をみると、58億44百万円の赤字が生じており、前年度に比べ赤字が9億76百万円(20.1%)増加している。

累積欠損金を有する事業は17事業（26病院）で、前年度から1事業増加（病院も1病院増加）しており、その額は1,009億78百万円で、前年度に比べ57億67百万円（6.1%）増加している。

不良債務を有する事業は5事業で、前年度から2事業増加しており、その額は25億71百万円で、前年度に比べ6億56百万円（34.3%）増加している。

第3表 病院事業の損益収支状況の推移

(単位:百万円、%)

項 目	年 度	H27	H28	H29	H30	R1	対前年度比較	
							a	b
総 収 益	A	91,272	97,067	96,626	98,625	99,954	1,329	1.3
経 常 収 益	B	89,312	92,735	95,626	97,864	99,550	1,686	1.7
医 業 収 益	C	78,146	79,362	81,949	83,131	84,856	1,725	2.1
うち料金収入		70,866	71,927	74,446	75,432	76,976	1,543	2.0
うち受託工事収益	D	0	0	0	0	0	0	—
特 別 利 益		1,960	4,332	1,000	761	404	▲357	▲47.0
総 費 用	E	96,139	99,726	102,426	103,492	105,798	2,305	2.2
経 常 費 用	F	95,000	98,206	101,498	103,152	105,081	1,928	1.9
医 業 費 用		89,882	93,120	96,891	98,472	99,941	1,469	1.5
うち職員給与費		40,105	41,962	43,226	44,098	44,507	408	0.9
支 払 利 息		1,755	1,652	1,521	1,456	1,410	▲46	▲3.2
特 別 損 失		1,138	1,520	928	340	717	377	110.9
経 常 損 益		▲5,689	▲5,471	▲5,872	▲5,289	▲5,531	▲242	4.6
経 常 利 益		46	143	433	390	339	▲51	▲13.0
経 常 損 失	G	5,735	5,614	6,305	5,679	5,870	191	3.4
純 損 益		▲4,867	▲2,659	▲5,800	▲4,868	▲5,844	▲976	20.1
純 利 益		182	2,178	290	739	489	▲250	▲33.8
純 損 失		5,049	4,837	6,091	5,607	6,333	726	13.0
累 積 欠 損 金	H	82,085	84,798	90,418	95,210	100,978	5,767	6.1
不 良 債 務	I	226	496	1,412	1,914	2,571	656	34.3
経 常 収 支 比 率 B/F		94.0	94.4	94.2	94.9	94.7	▲0.2	—
総 収 支 比 率 A/E		94.9	97.3	94.3	95.3	94.5	▲0.8	—
医業収益 に対する 割合	経 常 損 失 比 率 G/(C-D)	7.3	7.1	7.7	6.8	6.9	0.1	—
	累 積 欠 損 金 比 率 H/(C-D)	105.0	106.8	110.3	114.5	119.0	4.5	—
	不 良 債 務 比 率 I/(C-D)	0.3	0.6	1.7	2.3	3.0	0.7	—
総 事 業 数	J	18	18	18	18	18	0	0.0
経 常 損 失 を 生 じ た 事 業 数	K	15	15	13	14	14	0	0.0
累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数	L	16	16	16	16	17	1	6.3
不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数	M	2	3	2	3	5	2	66.7
総事業数 に対する 割合	経 常 損 失 を 生 じ た 事 業 数 K/J	83.3	83.3	72.2	77.8	77.8	0.0	—
	累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 L/J	88.9	88.9	88.9	88.9	94.4	5.6	—
	不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 M/J	11.1	16.7	11.1	16.7	27.8	11.1	—

(注) 不良債務=(流動負債-建設改良等の財源に充てるための企業債-建設改良等の財源に充てるための長期借入金-地方債に関する省令附則第8条の3に係るリース債務(PFI法に基づく事業に係る建設事業費等))-流動資産-翌年度へ繰り越される支出の財源充当額)

イ 資本収支の状況

病院事業の資本的支出は121億41百万円で、前年度に比べ9億98百万円（7.6%）減少している。このうち、建設改良費は43億86百万円で、前年度に比べ9億83百万円（18.3%）減少しており、企業債償還金は76億86百万円で、前年度に比べ25百万円（0.3%）増加している。

資本的支出の財源は、外部資金が企業債や他会計出資金等の92億33百万円であり、内部資金（資本的収入が資本的支出に不足する分の補てん財源）が損益勘定留保資金等の24億7百万円である。

なお、資本的支出に占める建設改良費の割合は36.1%で、前年度に比べ4.8ポイント低下しており、建設改良のための企業債償還金の割合は62.7%で、前年度に比べ4.9ポイント上昇している。

第4表 病院事業の資本収支状況の推移

(単位:百万円、%)

項 目		年 度					対前年度比較	
		H27	H28	H29	H30	R1	b - a	(c/a)
		a					b	c
資本的支出	建設改良費	20,346	19,452	10,382	5,369	4,386	▲983	▲18.3
	企業債償還金	10,317	14,828	7,328	7,661	7,686	25	0.3
	うち建設改良費のためのもの	9,850	11,081	7,271	7,593	7,608	15	0.2
	その他の	1,262	152	1,131	109	69	▲41	▲37.1
	計	31,926	34,432	18,840	13,139	12,141	▲998	▲7.6
同 上 財 源	内部資金	2,904	6,066	3,037	2,407	2,407	▲0	▲0.0
	外部資金	28,960	28,335	15,803	10,732	9,233	▲1,499	▲14.0
	企業債	6,553	8,150	3,602	4,420	3,860	▲560	▲12.7
	うち建設改良費のためのもの	6,553	8,150	3,602	4,420	3,860	▲560	▲12.7
	他会計出資金	4,693	4,879	5,407	4,414	4,009	▲405	▲9.2
	他会計負担金	1,001	1,477	1,162	1,352	1,399	47	3.5
	他会計借入金	0	0	0	0	0	0	—
	他会計補助金	517	82	89	300	41	▲259	▲86.2
	国・県補助金	14,692	13,677	5,406	132	112	▲20	▲15.4
	繰越事業財源(▲)	57	56	0	0	221	221	130,079.4
計	31,864	34,402	18,840	13,139	11,639	▲1,500	▲11.4	
財源不足額		62	30	0	0	501	501	皆増
当年度同意等債で未借入又は未発行の額		0	0	0	0	0	0	—
実質財源不足額		62	30	0	0	501	501	皆増

(注)1 内部資金=補てん財源合計額-前年度からの繰越工事資金+固定資産売却代金

2 外部資金=資本的支出額-(内部資金+財源不足額)

ウ 料金収入の状況

料金収入（入院・外来収益）は769億76百万円で、前年度に比べ15億43百万円（2.0%）増加している。

患者1人1日当たりの診療収入は、入院収益が4万5,665円で、前年度に比べ504円（1.1%）増加しており、外来収益が1万3,970円で884円（6.8%）増加している。

職員1人1日当たりの診療収入は、医師1人当たりでは28万7,893円で21,357円（8.0%）増加しており、看護部門1人当たりでは5万8,422円で642円（1.1%）増加している。

第5表 料金収入の状況の推移

（単位：円、%）

年 度		H27	H28	H29	H30	R1	対前年度比較	
							b - a	(c/a)
項 目							c	×100
							a	b
料 金 収 入（百万円）		70,866	71,927	74,446	75,432	76,976	1,543	2.0
内 訳	入院収益（百万円）	46,387	47,454	49,399	50,205	50,786	582	1.2
	外来収益（百万円）	24,479	24,473	25,047	25,228	26,189	961	3.8
患者1人1日 当たり診療 収 入	入 院	43,162	43,293	44,014	45,161	45,665	504	1.1
	外 来	12,085	12,347	12,826	13,086	13,970	884	6.8
職員1人1日 当たり診療 収 入	医 師	286,933	277,363	279,255	266,535	287,893	21,357	8.0
	看護部門	55,867	55,625	57,895	57,780	58,422	642	1.1

エ 他会計繰入金の状況

他会計からの繰入金（借入金を含む。）は、収益的収入（特別利益を含む。）に計上される繰入金  
が138億5百万円、資本的収入に計上される繰入金が54億49百万円、合わせて192億54百  
万円で、前年度に比べ10億75百万円（5.3%）減少している。

収益的収入に計上される他会計からの繰入金の総収益に対する割合は13.8%で、前年度に比  
べて0.7ポイント低下しており、資本的収入に計上される他会計からの繰入金の資本的収入合計  
に対する割合は58.9%で、前年度に比べ2.4ポイント上昇している。

病床1床当たりの他会計からの繰入金は461万3千円で、前年度に比べ21万1千円（4.4%）  
減少している。

第6表 他会計からの繰入金の状況の推移

（単位：百万円、%）

項 目		年 度	H27	H28	H29	H30	R1	対前年度比較		
								a	b	b - a c
他 会 計 か ら の 繰 入 金	収 益 的 収 入 A		13,002	13,147	14,193	14,263	13,805	▲458	▲3.2	
	う ち	負 担 金		9,474	10,334	10,935	11,074	10,518	▲556	▲5.0
		補 助 金		2,326	2,799	2,852	3,152	3,240	88	2.8
		資 本 費 繰 入 収 益		0	0	0	0	0	0	—
		特 別 利 益		1,202	14	405	36	46	10	27.7
		資 本 的 収 入 B		6,212	6,438	6,658	6,066	5,449	▲617	▲10.2
	う ち	出 資 金		4,879	4,879	5,407	4,414	4,009	▲405	▲9.2
		負 担 金		1,477	1,477	1,162	1,352	1,399	47	3.5
		借 入 金		0	0	0	0	0	0	—
		補 助 金		82	82	89	300	41	▲259	▲86.2
	計 (A+B) C		19,214	19,585	20,850	20,329	19,254	▲1,075	▲5.3	
総	収 益 D		91,272	97,067	96,626	98,625	99,954	1,329	1.3	
	資 本 的 収 入 E		29,145	29,600	15,817	10,732	9,254	▲1,478	▲13.8	
繰 入 率	総収益に対する繰入率 A/D		14.2	13.5	14.7	14.5	13.8	▲0.7	—	
	資本的収入に対する繰入率 B/E		21.3	21.8	42.1	56.5	58.9	2.4	—	
一 床 当 た り	収 益 的 収 入 (千円)		3,150	3,058	3,351	3,385	3,307	▲77	▲2.3	
	資 本 的 収 入 (千円)		1,505	1,498	1,572	1,439	1,305	▲134	▲9.3	
	計 (千円)		4,655	4,556	4,923	4,824	4,613	▲211	▲4.4	

※ 一床当たり繰入金 =  $\frac{\text{他会計繰入金}}{\text{年度末病床数}}$

オ 職員給与費の状況

職員1人当たり平均給与月額、医師が147万8,529円、看護師が47万967円、准看護師が45万1,667円、事務職員が49万3,318円、その他の職員が43万3,785円、全職員平均では56万8,844円で、前年度に比べ3,248円(0.6%)増加している。

第7表 職員別給与(平均給与月額)の状況の推移

(単位:円、%)

項目	年度	H27	H28	H29	H30	R1	対前年度比較	
							b - a	(c/a)
					a	b	c	×100
医師		1,331,146	1,495,558	1,511,160	1,488,585	1,478,529	▲10,056	▲0.7
看護師		447,856	452,926	461,701	466,114	470,967	4,853	1.0
准看護師		449,261	459,561	442,443	466,801	451,667	▲15,134	▲3.2
事務職員		517,497	521,654	500,994	493,094	493,318	224	0.0
その他職員		429,740	427,036	431,962	430,698	433,785	3,087	0.7
全職員		546,584	560,330	566,049	565,596	568,844	3,248	0.6

(注)1 管理者及び臨時職員を除く。

2 平均給与月額=(基本給+手当)/年間延職員数

カ 業務量の状況

職員1人当たりの患者数は558人で、前年度に比べ10人(1.8%)減少しており、職員1人当たりの料金収入は1,437万5千円で、前年度に比べ27万5千円(2.0%)増加している。

病床100床当たりの職員数は、医師が17.7人、看護部門職員が86.8人、全職員では149.6人で、前年度に比べ0.5人(0.3%)増加している。

第8表 職員業務量の状況の推移

項目	年度	H27	H28	H29	H30	R1	対前年度比較	
							b - a	(c/a)
					a	b	c	×100(%)
職員1人当たり患者数(人)		611	584	578	568	558	▲10	▲1.8
職員1人当たり料金収入(千円)		13,967	13,641	13,988	14,100	14,375	275	2.0
病床100 床当たり	医師(人)	16.4	17.3	17.2	17.4	17.7	0.3	1.7
	看護部門(人)	86.8	84.3	86.0	87.2	86.8	▲0.4	▲0.5
	全職員(人)	144.4	142.2	146.2	149.1	149.6	0.5	0.3

キ 材料費の状況

薬品等の医療材料費は184億2百万円で、前年度に比べ7億32百万円（4.1%）増加している。これを料金収入に対する割合で見ると23.9%で、前年度に比べ0.5ポイント上昇している。

医療材料費のうち、薬品費は97億75百万円で、前年度に比べ7億43百万円（8.2%）増加しており、患者1人当たりの薬品費は3,273円で、前年度に比べ301円（10.1%）増加している。

第9表 料金収入に対する材料費の状況の推移

(単位:百万円、%)

項目		年 度					対前年度比較		
		H27	H28	H29	H30 a	R1 b	$\frac{b-a}{c}$	$\frac{(c/a)}{\times 100}$	
料 金 収 入		70,866	71,927	74,446	75,432	76,976	1,543	2.0	
医 療 材 料 費		16,902	17,028	17,638	17,670	18,402	732	4.1	
う ち	薬 品 費	9,375	8,997	9,021	9,031	9,775	743	8.2	
	そ の 他 材 料 費	7,527	8,031	8,617	8,638	8,627	▲11	▲0.1	
料金収入 に対する 割 合	医 療 材 料 費	23.9	23.7	23.7	23.4	23.9	0.5	—	
	う ち	薬 品 費	13.2	12.5	12.1	12.0	12.7	0.7	—
		そ の 他 材 料 費	10.6	11.2	11.6	11.5	11.2	▲0.3	—
患者1人当たり薬品費(円)		3,024	2,923	2,933	2,971	3,273	301	10.1	